

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称	施策1 県民の総力を結集できる行政の推進
---------	-------------------------

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	総務部総務課長 鎌谷正文	電話番号	0852-22-5011
----------	--------------	------	--------------

事務事業の名称	歴史的公文書整理・保存事務		
目的	(1) 対象	利用者	
	(2) 意図	歴史的価値のある公文書を閲覧できるようにする。	
事業概要	保存期間が満了した公文書について、歴史的価値を有する公文書を選別・保存し、一般県民等が利用（閲覧）できるようにする		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	歴史的公文書閲覧申請件数	目標値	15.0	15.0	15.0	15.0	件	
	式・定義	歴史的価値のある公文書を閲覧できるようにする	取組目標値						
				実績値	28.0	43.0	58.0		
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
				実績値					
			達成率	186.7	286.7	386.7	-	-	%
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	10,889	13,022
うち一般財源 (千円)	10,889	13,022

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・特定歴史公文書（明治期以降の公文書）を約21,000冊所蔵している。
- ・保存期限が満了し、公文書センターで保存することとなる公文書については、順次、目録を作成し利用可能となるよう整備している。
- ・平成29年度一般県民からの利用請求件数は58件583冊で、前年度の利用請求件数43件456冊を大幅に上回った。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

公文書センターを開設して6年が経過し、徐々に県民にも知られてきており、利用（閲覧）請求件数増加とともに、県内外からの問い合わせも増えてきた

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

全実施機関に対し、保存期間が満了した公文書を対象にして特定歴史的公文書を選別を依頼しているが、まだまだ選別に対する意識が低いと思われる

### ②困っている状況が発生している「原因」

歴史的公文書保存の責務と必要性を職員が正しく理解できていないことが原因と考えられる

### ③原因を解消するための「課題」

平成23年3月に制定した「島根県公文書等の管理に関する条例」の目的「県の有するその諸活動を現在及び将来において説明する責務が全うされるようにすること」を職員に浸透させる必要がある

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

若手職員が、「島根県公文書等の管理に関する条例」の目的を正しく理解できるよう、新規採用職員研修等でその周知に努める。